

水防災・減災ハンドブックの発刊 ～水防災・減災技術に対する新たな取組～

国土交通省徳島河川国道事務所では、水防指導者の育成及び水防技術を伝承していくためにご活用頂ける教本として「水防災・減災ハンドブック」をとりまとめました。

◇本書は、伝統的な水防工法を基本として、現代の技術を応用し、改良された最新の水防工法まで幅広く学ぶことができる最新版の教本として作成したものです。

◇本書の内容は、徳島河川国道事務所ホームページにて、水防工法の動画と共に公開しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/yoshinoriver/saikoutiku/taisakukaigi.htm>

◇吉野川流域においては、社会全体で洪水に備えるため、「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組を進めており、河川管理者等と沿線市町村※と協議会を設置し、減災のための目標を共有し、ハード・ソフト一体となった各種対策を講じています。本書はこの取組の一環として発刊しております。

(※：吉野川沿江市町、徳島県、水資源機構、気象庁徳島地方气象台、四国地方整備局)

◇平成29年度吉野川・那賀川合同総合水防演習では、本書監修（別紙1）の全国水防専門家・四国防災エキスパート山本邦一氏の指導により、本書掲載の水防工法を実施します。

開催日：平成29年5月21日（日）9:00～12:00
（総合リハーサル：平成29年5月14日（日）9:00～12:00）

平成29年 5月 9日

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

本施策は、四国圏域広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

電話：088-654-2211（代表） 088-654-9611（直通）

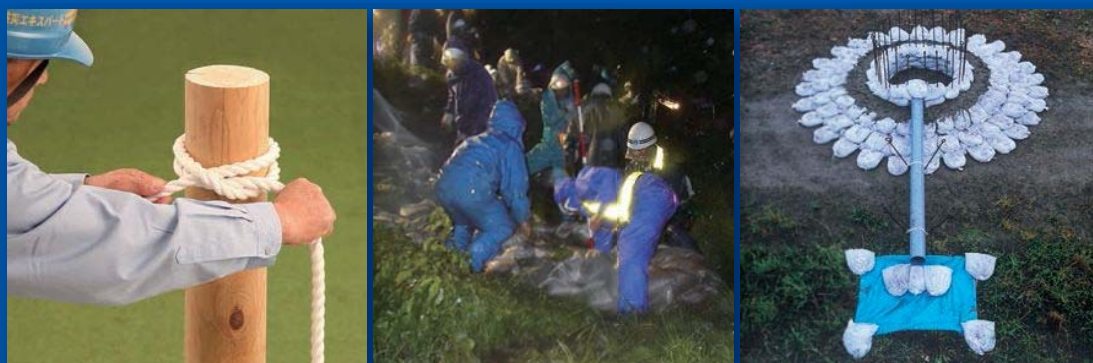
副 所 長 西山 修 （内線206）

◎河川調査課長 梶取 真一 （内線351）

◎主たる問い合わせ先

実務者のための

水防災・減災 ハンドブック



吉野川下流大規模氾濫に関する減災対策協議会
吉野川上流大規模氾濫に関する減災対策協議会
国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

監修にあたって

～水防災・減災技術に対する新たな取り組み～

水防工法に関しては、これまで先人達が様々な技術を生み出し、継承してきました。しかし、近年我が国では、生活環境の大きな変化や地域社会の移り変わりから、これらの伝統的な技術が十分に伝承・継承がされていないことが大きな課題となっています。

このような状況を鑑み、これまで多数の指導書や教本が刊行されていますが、現在の状況に必ずしも、対応した工法になっているとは言えない状況にあります。これは時代の変化とともに、水防工法を実践する組織体制の問題や防災意識の変化、さらには新たな水防資材等の開発が進んだこと等があげられます。

しかし、従来の工法として、土のうは水防の基本であり、ロープワークは工法の基本であるため、水防技術の基礎として必ず習得し、理解する必要があります。

よって、本書では、伝承されてきた基本となる技術をしっかり習得し、その上でより迅速に、安全に水防災・減災に対応できるよう、時代に即した考えを考慮しつつ改善・改良を加えました。さらに、緊急時には現場責任者が容易に判断できる応急型工法も含めて、体系的に整理し、まとめたもので、水防団員等の実務者のみならず若手技術者を含めた指導者の育成用教本として作成したものであります。

平成29年3月

●監修

全国水防専門家・四国防災エキスパート 山本 邦一



平成29年度 吉野川・那賀川合同総合水防演習
総合リハーサルについて

1. 日時：平成29年5月14日（日）9：00～12：00
2. 場所：徳島市民吉野川運動広場
（徳島市住吉4丁目地先 吉野川大橋下流 南岸河川敷）
3. 実施する水防工法
平成29年5月21日（日）に実施する水防演習本番と同様に、総合リハーサルでも、各市町の水防団により下記の水防工法を実施予定です。
 - 参加する水防団（6市7町）
徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、石井町、那賀町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町
 - 実施する水防工法
 - ・準備工（土のう作り、杭ごしらえ）
 - ・堤防斜面の崩れ対策工（シート張工・木流し工）
 - ・漏水対策工（釜段工・月輪工）
 - ・越水対策工（積み土のう工・改良積み土のう工）